

山口大学体育会ワンダーフォーゲル部 OB 会

# OB通信

平成 10 年 12 月 NO.2

発行：〒753-0841 山口県山口市吉田 1677-1

山口大学体育会ワンダーフォーゲル部内

山口大学体育会ワンダーフォーゲル部 OB 会  
事務局

## I. はじめに

12月というに未だ寒の入りが訪れない冬、OBの皆さまにおかれましてはさぞご多忙の日々を送られていると御察いたします。今年度第2号となるOB通信が遅くなりましたが、出来上がりましたので御手元にお届けいたします。今年度のOB通信の日時・場所、また現役部員の活動など盛り沢山の内容ですので楽しんで頂けると自負しております。

## II. OB会の活動について

### (1) OB総会

本年度OB総会を下記のように開催することをご案内申し上げます。本年度会計報告、現役部員活動報告、新OB紹介などが予定している内容です。御忙しい中と御察いたしますが、OB会、現役部員などへの貴重なご意見等を直にお伺いできる年1回の場ですので、お誘いあわせの上奮ってご参加くださるようお願いいたします。

【日時】平成11年1月16日(土)14:00

【場所】太陽堂旅館(山口市道場門前通り、TEL  
0839-22-0897)

なお、お手数ではございますが御出欠席は、同封いたしましたハガキにて1月13日までに返信下さるようお願いいたします。詳細については、私、國清順一(040-894-5331:携帯電話、0839-24-1950内線51、E-Mail:b1124@sty.sv.cc.yamaguchi-u.ac.jp)へお願いします。

また、同日・場所17:00より追いコンも行います。こちらも参加くださればと思います。

### (2) OB会費

#### 1.一括納入

- 勝田 知美
- 米沢 和彦
- 箱嶋 史子

- 一柳 洋子
- 小林 美樹

(順不同、敬称略)

## 2. 今年度分納入

- 原 秀樹
- 里内 繁
- 渡辺浩幸

- 井上 義章
- 増田ひとみ
- 中野 毅

(順不同、敬称略)

### (3) 振り込みについて

OB 会費は、OB 通信発行、OB 総会費用に使われますが、現役部員の活動における緊急時にも使われます。まだ、納入されていない方は、下記へ納入して下さいようお願いいたします。

郵便局：01530-0-16050 山口大学ワンダーフォーゲル部  
銀行：第一勧業銀行 山口支店 普通 1482019  
山口大学体育会ワンダーフォーゲル部

なお、1年分納入、5年分一括納入の2種類ございますのでどちらかでお支払い下さい。納入の際に第何期でいらっしゃるかをお名前の後に書いていただけると幸いです。

- 1年分会費……………2,000円
- 5年分会費一括納入……10,000円

また、数人の方からOB会費をどのくらい払っているかとの問い合わせがありました。今回、送付いたしました封筒宛名書きの名前近くに数字があると思います。これは、平成4年度から今年度10年まで収めていない年会費が何年分あるかという意味です。

例:NO.5→5年分払っていません。

※前回送りましたOB通信の郵便局の番号が〈01530-016050〉になっておりました。入金時には、ご迷惑をおかけいたしました。上記が正しいのでよろしくお願いたします。

### III. OB名簿について

前回お届けしましたOB名簿で住所、電話番号の変更等がありましたので、訂正をお願いいたします。(敬称略)

5期：木山克彦 〒167 世田谷区喜多見7-33-14 成城ロイヤル503  
TELO3-3749-3608/勤務先：日本グラクソ(株)

8期：大谷(右田)久美子 〒285 千葉県佐倉市白銀3-17-14  
TELO43-485-0963  
武富(伊藤)敏夫 〒273 船橋市南本町15-10 サンファミリー船橋402  
TELO474-37-4011/勤務先：山九(株)

中州泰治 〒192-03 東京都八王子市松木431-3-16-201  
TELO426-74-5464/勤務先：NECパーソナルシステム(株)

藤下克弘 〒262 千葉市花見川区朝日ヶ丘町3357-20  
TELO43-297-3817/藤下克弘税理士事務所

9期：林幸司 〒732-0063 広島市東区牛田東2丁目4-17-2  
(TEL・FAXO82-222-1588) 勤務先：神戸製網所

原田啓一 〒859-0401 長崎県西彼杵郡多良見町化屋名2-101  
(TELO957-43-5772)：長崎県高校教員

中村幸子 〒811-3223 宗像郡福岡町光陽台2-15-11

中野茂盤(山口県・小学校の教員)は、御他界されました。謹んで、ご冥福をお祈りいたします。

### IV. 現役部員活動報告

#### (1) 近況報告

福山英生

夏合宿もなんとか無事終わり、現在部は春合宿に向けて動き出しています。我々、第38期執行部の任期もあとわずかとなり、出来るだけよい形で次の代にバトンタッチできるよう、全力で部の運営にあたっています。

話は変わりますが三月に行う予定の春合宿では、

- 沖縄(サイクリング)
- 黒島(サバイバル)
- 九重連山
- 屋久島

の、4 partyで行う予定です。この中でも、久しぶりに屋久島で合宿を行う party が1つあります。約十年ぶりのことなので、不安もかなりありますが、執行部の目標の1つでもありましたので、よい合宿になるようしっかり活動していこうと思います。



(2) '98 夏合宿 南アルプスParty (塩見岳～白峰三山) 6  
泊7日

PL 藤井 良和

自分としては最後の夏合宿でしたが、まさにそれにふさわしく後悔のない合宿でした。やはり3年という立場で、学業の方でも忙しく計画段階でもう少し考えたら良かったと思う所もありましたが、その忙しさが自分を追い込み常にながめられたと全てが終わったとき思いました。しかし、自分だけが合宿を創り上げたお出はなく、いろいろとご助言をいただいた4年生の方々と、執行部のみんなと部員みんなとそしてP-menのみんなのおかげだということを忘れたらいいけません。感謝の気持ちで一杯です。

今回の合宿では、いろいろと試みたことがありましたが、その中の一つに“簡易トイレ”の使用が挙げられます。これはK先輩(OB通信を作っている)がインターネットで見つけられ進めていただいたものです。簡単にこの“簡易トイレ”について説明しますとゴミ袋のようなビニール袋の中に水分などを吸収する物質と綿のようなものが入っているという、まさに“簡易トイレ”という言葉が似合うものでこれを合宿にもっていきました。それは、合宿の二日目のテン場にはトイレがなかったのでそこで使おうとおもったからです。平成9年の北岳の沢水汚染の新聞記事で始まった山岳地帯における環境汚染問題は山小屋のトイレ施設の保管理や整備の問題に発展し、登山ブームに乗る登山者のモラルやマナーの欠如に対する批判等から、山岳環境の保全を目的とした山岳トイレの在り方を探る「全国山岳トイレシンポジウム」が平成10年つまり今年の6月山梨県の甲府市で開催されました。ワングルの自然の環境を一つとして変えずそのままの形で残したいという考えとjust fitしたためこの“簡易トイレ”をもっていきました。

簡易トイレ取扱企業 産経サービス(株) 0552-26-0818

20枚セット(2400円)

使用済み簡易トイレは100円で北岳山荘と広河原山荘で処理してくれる。

この合宿の醍醐味の一つはやはり高さだったのだろう。3000mを越える山は、塩見岳に始まり農鳥、西農鳥、間ノ岳(3189m日本第4位)、北岳(3192m日本第2位)のピークを踏んだ。稜線上もだいたい2600~2800mほどの高さがあり、農鳥小屋などではトイレへ行こうとして小走りすると心臓がバクバクいった。天気になんか恵まれたというわけではなかったが行程中は晴れる日がほとんどで1沈でコースを消化できた。北岳の辺りは人が多かったが、塩見岳の辺りは人があまりなくて静かで南アルプスの雰囲気を感じた。2日目には3051mの塩見岳に登ったが、ここで飲んだ午後の紅茶(ペットボトル)は最高だった。みんなからももらった差し入れを

入るとザックの重さは35kgはあったが、塩見岳までは午後の紅茶は持っていこうと決めていた。

なんといっても圧巻だったのが最終日の北岳だ。朝のパッキングが1時間40分で完了してすぐに出発した。この時はM3:40だった。この日の日の出が約AM5時出会うとのことで歩いているうちに徐々に明るくなっていき、空が青から薄紅色に、地面が赤く染まっていた。何とも言えない気持ちの高揚と自然の偉大さに唖然となり息は切れていたが足だけは前へ前へ進もうとする。PLとしては5.0分ぐらい歩いたら休憩しようと思っていたが、早く頂に立って全てを見たい感じたいというみんなの気持ちと自分の気持ちを放んで一本でいった。1時間20分歩いて息は切れて休憩しなかったはずのみんなはザックを置くと同時にある一点を見つめていた。そこには雲海の上につきだし真っ赤に光る太陽に照らされた富士山があった。僕はうれしかった。3年生として下級生が山の素晴らしさに浸っているのを見てうれしかった。このとき心からこのコースを計画して、PLをやったよかったと思った。自分の考えをストームに代えてここでさげんだ。

この日の北岳はとても天気が良く、空は真っ青で雲一つなく、下には見渡す限り雲海で、富士山も見え、またブロッケン現象を見ることができた。

この後、広河原へ下山して下山ビールを飲んだ。ここでほんとに肩から荷が下りたと思った。みんな無事で良かった。なんだかいつもより酔った。End

### (3) '98夏合宿 北アルプス

PL 清水慶明

今回の夏合宿では北アルプスを計画しましたが、結果としてエスケープという残念な結果となってしまいました。7月23日湯田温泉を6:04に発ち新穂高温泉をめざしました。その日はわさび平で幕営し一日目の行程に備えましたが、天候が思わしくなかったため、次の日は沈としました。7月25日快晴、2:00起床4:00発で双六小屋をめざしました。槍・穂高の美しい眺めが見れたのですが、途中P-Menの一人が頭痛を訴えました、その場は薬で抑えて双六に12:24着。テン場で熱を計ったところ39度を越す高熱のため、翌26日は沈としました。朝、熱を計ったところ36度まで下がっていたのですが、あと3沈して折立をめざすか、またはせめて双六岳ピストンをして下山するというのも考えられたのですが、山の上で体調を崩したら、高所ということもありそうそう回復するものではないと判断しエスケープを決定しP-Menに伝えました。7月27日晴、4:35テン場発、一本目でやはりペースダウンし、ザックを解体し残りのP-Menに分担してもたせました。下

るにつれて体調は良くなってきましたが、念のために松本で病院に連れていき診察を受けたところ、問題はなく、薬をもらいかぜとの診断を受けました。

このエスケープはPLとしてp-menの健康をしっかりと把握していなかった自分の責任であると同時にp-menに夏合宿を満喫させてやることができず大変申し訳ない気分です。今後、1、2年生の経験不足が心配です、また合宿で伝えていくことがたくさんあったと思うのですが、そのうちのどれだけを後輩に伝えることができたかと思うと疑問が残ります。

正直言って一時はどうなるかと心配しましたが全身無事下山させることができよかったです。せめてもの救いが行程中は全て快晴で、素晴らしい槍・穂高のダイナミックな景色をp-menに見せることができたことでした。私はどうも最後の夏合宿だったわけですが、残念と思う気持ちとこんな終わり方なのかという気持ちがありました。しかし現実に私のワングルとしての夏合宿は終りました。これから機会があればこの自分が立てたコースを行ってみたいと思います。

P.S 私たちのPartyはあまりにも早く松本を帰って来たために、他のPartyが帰って来るまで一週間ほどあがたの森公園で野宿するはめになり、p-men全員、他partyのp-menより松本通になってしまいました。あがたの森の生活では、ホームレスの方々にチョコやソーセージを分けられたり、突然の雷雨に打たれたり、映画「タイタニック」を見に行ったりと合宿よりこの野宿の方が思い出に残りそうです。

#### (4) 北ア 燕岳@穂高P

PL 上田 治徳  
僕たちのパートは天気には恵まれませんでした。無事全コース行程をこなすことができました。僕らのパートは練成時から波瀾万丈でありました。パートの一人がトレーニング不足のため、またひどい股ずれのためにペースが遅くなり制限時間ぎりぎりにボックスに着いたり、SLとのBWではSLの実力不足によりゲインをしたりと悩みは尽きませんでした。しかしそういうパートだったためにこれまでになく、様々な新しい試みを行うことができました。練成ではつづけることのできなかつた自信を、梯子の練習や、21世紀の森の岩場での岩場練習、pwなど他パートと違う事をする事で補えたように思います。さて肝心の夏合宿ですがAPのときからくもり空で登山場に着くなりスコールのような雨に降られたりと、とんでもないスタートに心はうきうきでした。1日目は合戦尾根をザックの重さと股いながらのぼり、2日目はピーカン空で燕岳をピストンし、北アルプスの素晴らしい絶景と神様のような御来光を拝みつつ常念小屋を目指しました。しかし登山場に

いたのは何と2時。P-メンの体力不足がもろにでてしまいました。3日目は雨のため沈。4日目はまたもやピーカン空で、常念岳に登り穂高、槍のパノラマに涙をながし蝶ガ岳では幻想的霧雨の中にカミナリ鳥を見たりと刺激的な一日になりました。5日目は天気が微妙だったので横尾まで、6日目は天気に恵まれ溜沢へ、途中日本猿に会い猿の惑星的アルプスを体験！。7日目この夏合宿のメイン奥穂高へ、P-メンの心は異常な盛り上がりであったがピークは雨模様残念ながらジャンダルムはオアズケ！ 8日目北穂へ途中までは良い天気であったがピークではプロパンガス、都市ガスボカーン！何も見えませんでした。しかしブロッケン現象を見ることができラッキーでした。最終日はテンバの一緒だった下関市立大学と上高地まで競争しながら下りました。以上が僕の夏合宿です。僕としては不満も残りますがとても良い夏でした。P-リーをして思ったことは僕は先輩に迷惑をかけていたのだなということで、1年生の時に合宿前に骨を折ったりと今になり先輩の寛大さに心打たれるまいにちであります。……☆

(5) '99 春合宿 in 九重山

PL: 立石広美

春合宿として九重連山に4泊5日で行きます。ほぼ九重連山を制覇できるようなコースになっています。長者原から入り、平治岳、久住山・中岳、大船山、三俣山、黒岳(高塚山)、そして七里田温泉に下山する予定です。

すごく寒そうなので、P-men が風邪をひかないか心配ですが、最後の合宿なので絶対に成功させたいと思います。また、個人的には九重山は初めてだし、火山地域独特の雰囲気が好きなので、合宿が楽しみです。



(6) '99 春合宿 サイクリング PARTY

P.L 緒方秀次  
か

99年の春合宿サイクリング Party は、沖縄で行います。那覇から出発して名護市→本部町→辺戸岬→東村→金武町→沖縄市→那覇という風にほぼ沖縄本島を6泊7日で、1週する予定でした。が、P-men の一人がレクのサッカー中に足を骨折してしまいました。全治3週間から1ヶ月ということですがP-men が3人になってしまいましたのでコースカットして4泊5日で行われる見通しです。とても困難な船出となってしまいましたが、骨折したP-menを含めて4人でこれから春合宿に向けてがんばろうと思います。



V. その他

(1) 追いコン情報

9日(土) 19:00 ふじみ旅館(宇部)

(2) 第30期 山田 一成様他へ

先日、電話にて住所変更を御伺いいたしました。しかしながら、住所



録のデータがパソコンが故障のため取り出し不可能となりました。そのため、今回は住所変更を掲載することが出来なくなりました。こちらの不注意、この場を御借りしてお詫び申し上げます。

## VI. 編集後記

本年度の2号目にして最後のOB通信になりました。早いもので、私ももうすぐOB会事務局の仕事が終わりに近づいています。精一杯努力したつもりですが、行き届かない点が多々ありお叱り、励ましなどを受けました。この場を借りて、感謝申し上げます。さて、同封いたしましたOB会出欠席のハガキには、住所変更記入欄とOB会、現役部員などへのご意見を記入する欄を設けました。先輩方の貴重な意見をより多くこれからのワングルに反映させる為にもたくさん記入されて結構です。

これは、私事ですが最近はめっきり山へ行く機会が少なくなり、卒論の関係で川の中の草むらを歩いたり、愛車のジムニーで林道を走るようになりました。捻挫が換地してないこともあります。今年はなかなか行く機会がない年でした。来年は、西表島に3度目の挑戦をしたいなどと考えています。また、まだ行ったことのない屋久島にも……。しかし、山口県内の山を制覇するのもいいかも、などと夢を膨らませています。まだまだ現役、OBに来年なっても意欲的に自然と一体になり、興味がある「多自然型の川づくり（川だけではないけど）」に盛り込んで行きたいと思っています。それでは、OBの皆様がこれからも、健康で山登りを楽しめることを祈って終わりにさせていただきます。

編集者 國清順一、高石豊寿

